

NPO法人多文化共生リソースセンター東海

2024年度 事業報告書

< 目 次 >

- | | |
|----------------------|----------|
| 1. 2024年度事業報告 | ... p. 1 |
| 2. 2024年度決算報告 / 監査報告 | ... p. 7 |
| 3. 2025年度事業計画 | ... p.15 |
| 4. 2025年度活動予算 | ... p.17 |

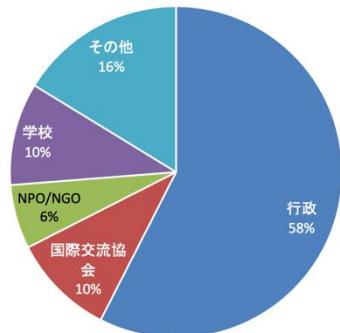
研修・コンサルティング事業

各地での多文化共生への基礎理解や、テーマ別に具体的な実践事例の紹介、今後の取組みについて考える場づくり等をサポートする。



【主な講演テーマ】

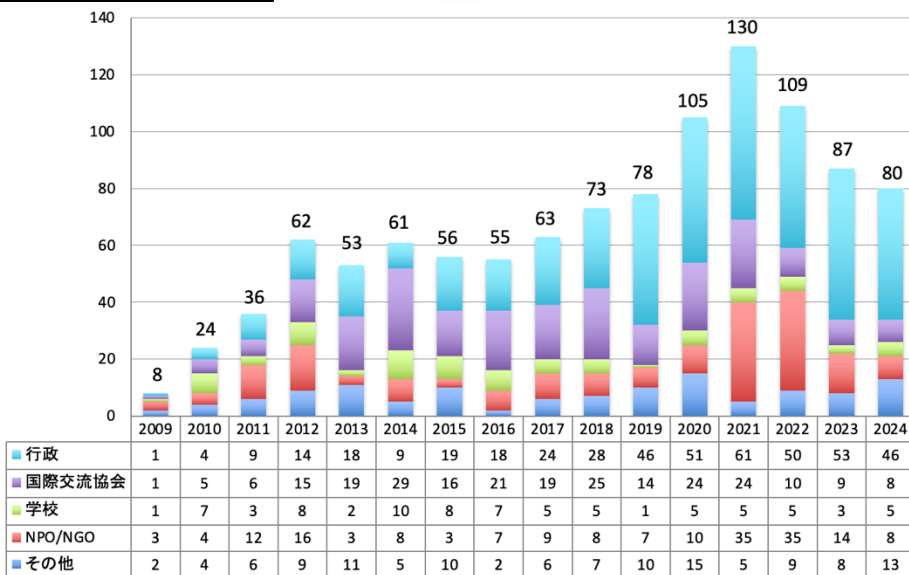
- ・多文化共生概論
- ・やさしい日本語
- ・災害時対応
- ・地域日本語教育
- ・外国人と人権
- ・発達障害支援



【実績】

80件(前年度87)

行政 46件
国際交流協会 8件
学校 5件
NPO/NGO 8件
その他 13件



【参加者の声】

多文化共生は地域づくりだということが理解できました。

まだ外国人はごくわずかだが、今後間違いなく地方でも対応が必要な事案であるのでとても参考になりました。

今後日本が抱える課題解決のために、ますます外国人の方々との共生が必要だと理解できました。

お互い尊重し、助け合える関係をつくるのが大切だと感じました。

今年度は、ほぼすべてが対面での研修でした。そのため、対応件数はコロナ前と同じくらいになっていますが、新規のご依頼が14件もありました。

「今までは、あまり多文化共生に取り組んでこなかった」という地域・団体からのご依頼も増えていきますので、これまでの当団体の経験をもとに、これからの多文化共生社会づくりに向けて取り組まれていく皆様のお役に立てるよう、精一杯努めたいと思います。



土井佳彦

愛知県における外国人コミュニティの活動継続展開及びネットワーク構築のための支援事業

ルーツを超えて、愛知県内の外国人コミュニティの活動の継続展開とネットワーキングを支援する。
(赤い羽根共同募金助成事業)



【主な取組】

1. 外国人コミュニティの現状や課題の把握
随時ヒアリングを実施
2. 外国学校間の意見交換会
朝鮮学校、ブラジル学校、ネパール学校、及びその支援者
3. 外国人コミュニティの活動の継続・展開をサポート
助成金申請、行政等への施策提言、企業等への協力要請



土井佳彦

愛知県内には、以前から多くの「外国人コミュニティ」があります。そのうち、比較的新しく立ち上がった団体や、これまでの活動を大きく展開していきたいと考えている団体を中心にそのお手伝いをしています。昨年度までは主にブラジル学校を運営するNPOの事業展開をサポートしてきましたが、今年度は、より多くの団体からのご相談に応じられるよう努めています。この取り組みを通じて、いわゆる「当事者の社会参画・活躍」は、今後の多文化共生社会づくりに必要不可欠だと実感しています。

東海地域における産官学民 連携の避難民等支援体制の 構築事業

東海地域のウクライナ避難民等の支援体制構築を目的に、自治体とNPO等との連携強化や就労支援を行う。(日本財団助成事業)



【主な取組】

1. 個別支援の実施およびITを活用した情報共有
個別相談対応(随時)、情報共有の場づくり(隔月)
2. キャリア支援プログラムの実施
オンラインと対面での就労支援(随時)
3. 産官学民連携の避難民等支援体制検討会議および
シンポジウムの実施
関係機関との意見交換(不定期)、事業報告会(3月予定)



【ウクライナ避難者数】(2025年6月30日現在)

全国 1,936人(累計2,798人)

(東海地域)

愛知県	122人(～18歳 15人, 65歳～ 19人)
静岡県	23人(～18歳 4人, 65歳～ 5人)
岐阜県	10人(～18歳 3人, 65歳～ 0人)
三重県	1人(～18歳 0人, 65歳～ 1人)
<hr/>	
合 計	156人(～18歳 22人, 65歳～ 25人)

今年度も引き続き、「あいち・なごやウクライナ避難者支援ネットワーク」に参画し、ウクライナ避難民等への支援を行っています。ロシア侵攻から3年以上が経ちましたが、いまだに停戦・終戦の目処が立たない中、避難民等の日本での生活課題はより複雑で多様化しています。その一方で、世間の注目は薄れ、物資や資金面での支援は以前よりずっと集まりにくくなっています。この活動を通じて得た知見やネットワーク等を、今後の3恒常的な多文化共生社会づくりにつなげていくことも大事な役割だと思っています。



土井佳彦

情報発信及び ネットワーキング

多文化共生に関する情報を不特定多数の人に発信し、日常における多文化共生の認知度・理解度を高める。新型コロナ関連情報も多数。



特定非営利活動法人 **多文化共生リソースセンター東海**
国籍や文化に関係なく、みんなが安心して楽しく暮らせる社会にしたい

ホーム 団体概要 About us 活動実績 成果物等 講師派遣 会報誌 メディア掲載 サポーター募集 お問い合わせ

多文化
共生

NPO法人多文化共生リソースセンター東海

多文化共生分野の中間支援NPOです。
<http://mrc-l.blogspot.com/>

3 フォロー 87 フォロワー

マガジン >

毎月の活動報告
44 本
公開中

イベント案内&報告
15 本
公開中

事務局からのお知らせ
15 本
公開中

年次報告書
5 本

ホーム 記事 メンバーシップ マガジン スキ プロフィール 仕事依頼 月別

新着 人気



2025年6月の活動報告

NPO法人多文化共生リソースセンター... 2週間前
3 1 1



参議院選挙2025〜多文化共生関連〜

NPO法人多文化共生リソースセンター... 1か月前
35 1 1



2025年5月の活動報告

NPO法人多文化共生リソースセンター... 2か月前
1 1 1



2025年度 講師派遣規定

NPO法人多文化共生リソースセンター... 2か月前
1 1 1



2025年4月の活動報告

NPO法人多文化共生リソースセンター... 3か月前
2 1 1



2025年3月の活動報告

NPO法人多文化共生リソースセンター... 3か月前
3 1 1

【ホームページ】

・閲覧数 約11,300pv/年

【facebookページ】

・いいね！ 3,359件(+60)
・フォロワー 3,683人(+117)
・リーチ数 6,095人/月平均

【ブログ(note)】

・投稿数 17件
・閲覧数 6,632pv/年



土井佳彦

ホーム あいち・なごや
ウクライナ避難者支援ネットワーク

Переселенцям з України.



ウクライナから避難された方へ

支援したい方へ



for Supporter

多文化
共生



多文化共生リソースセンター
東海

「いいね！」3,359件・フォロワー3,683人



ホームページでは、主に「ストック情報」を、SNSでは「フロー情報」を発信しています。各種発信媒体を通じて、多くの方が当団体からの情報を受け取っていただけていることを嬉しく思います。また、これらの情報をもとにご相談やご依頼などのお問合せを受けることも増えていますので、今後も定期的な発信を続けていきたいと思ひます。関連団体主催のイベントの広報等もしておりますので、ぜひご活用ください。

外国につながる 子どもの健全育成

外国人子育て世帯を対象として、子育ての悩みや日本での生活等について気軽に相談でき、併せて国籍や文化的差異を越えた交流を図ることができるサロンを開催。(東区委託事業)

FREE

参加費無料
参加費免费

Multicultural Parenting Salon

多文化交流親子沙龙

ひがしく あそぼう

多文化交流親子サロン
たぶんがこうりゅうおやこさろん

英語と中国語の通訳あり
English and Chinese
interpretation
有中英文翻译

【開催日時・内容】

①2024年11月28日(木) 10:30~12:00

「年賀状を作ろう」

参加者数: 3組(うち外国人1組)

②2024年12月(木) 10:30-12:00

「クリスマス会」

参加者数: 17組(うち外国人4組)

③2025年2月6日(木) 10:30-12:00

「にほんのおもちゃ」

参加者数: 6組(うち外国人3組)

④2025年3月1日(土) 10:30-1:00

「世界のおまつり(ひな人形を作ろう)」

参加者数: 10組(うち外国人4組)



【参加者の声】

・子どもと一緒に作品が作れてとても楽しかったです。最後の絵本、三か国語が聞けて、もっと読んでほしいと思うくらいでした。中国、ブラジル、との交流の時間がほしいです！！

・今日はこのイベントに参加できて光栄です。小さな友達もお母さんも大満足です。今後また参加する機会があることを楽しみにしています。(中国語からの翻訳)

・いろんな国、年齢のお友だちとあそべたのしんでいました。ありがとうございました。またのいいイベントをおねがいします。

・たくさんの方とおはなしできました。子どもも楽しそうにブラジルのダンスをしてくれていました。お菓子もおもしろかったです。

・参加して本当に楽しかったです。交流することはとても重要です。皆さんからたくさんのことを学びました。(ポルトガル語からの翻訳)



本事業では、全4回の多文化子育てサロンを開催しました。単年度の委託事業でしたが、参加者からは継続を望む声が多く聞かれました。また、イベント終了後には、「サロンの開催を知らなかった。今後、開催されるならば参加したい」との問い合わせもあり、外国人参加者と日本人参加者が交流を越え、さらに友達になっていく為にはイベントの継続 5 的・定期的な開催が必要であると感じました。

河村 慎子

その他の取組

多言語通訳・翻訳コーディネート、先進事例視察
コーディネート、多文化共生に関するアンケート調
査等、その他目的達成に必要な事業



NPO法人国際市民活動中心(CINGA)主催
「ヨーロッパ5か国現地視察」への参加

【日 程】2025年7月20日～25日
【訪問先】Paderborn市, Frankfurt市
MiCado, IN VIA, Koordinierungsstelle für
Flüchtlingsangelegenheiten, die Sprach-
werkstatt, Caritas, Job Center, AWO, ASB,
Frankfurt Hilft



土井佳彦

ドイツの地方都市における移民・難民(特にウクライナ避難民)の受け入れについて、その現状や課題等を学ぶべく、関連団体のスタディツアーに参加させていただきました。訪問先で見聞きしたことはもちろんのこと、日本からの同行者が日本語教育や社会福祉、生活相談、難民支援等、さまざまな分野の専門家の方々だったこともあり、移動時間も含めて非常に有意義な視察となりました。(公財)入管協会発行の『国際人流』(2025年1月～9月)に各視察者からの報告が掲載されていますので、ぜひご覧ください。